

建設課

## 生活を支えるライフライン整備

市道2路線の改良が完了



市道高瀬線工事施工前



市道東南線工事施工前



市道高瀬線工事完成



市道東南線工事完成

このたび、東城町栗田の市道東南線と口和町永田の市道高瀬線の2路線の道路改良工事が完成しました。

市道東南線は、平成20年度から10年間工事を実施し、道路が広くなり地域住民の生活道路として大変便利になりました。

市道高瀬線は、平成27年度から3年間かけて工事を行い、高低差の激しい道路の勾配を緩やかにしたことで見通しが良くなつて事故防止にもつながっています。隣接する高茂温泉や高瀬の湯への道として、また、口和町から山内町に行く道として、大変便利になりました。

庄原市では、現在も各地区で市道改良工事を行っています。工事期間中は大変ご迷惑をお掛けしますが、市民の皆さんの利便性の向上と安全な道路交通の確保のため、ご理解とご協力をお願いします。

観光振興課

## 鮎の里に新メニューが誕生

口和中学校生徒が試食



試食する生徒

口和町の「鮎の里公園」で3月20日、修学旅行生向けに開発された新メニューの試食会を実施しました。

この新メニューは修学旅行で県外から鮎の里を訪れてラフティング体験を実施する中・高校生を対象として、地元食材を使った新たな弁当として開発されました。施設の名称にちなんで「鮎の里弁当」と命名されました。鮎の里で作る炊き込みご飯の上に、鮎をかたどったすり身の

揚げ物がのっており、まさに「鮎の里」らしいメニューとなっております。

試食した地元の口和中学校の生徒約40人からは「鮎の味がしつかりとしておいしかった」「見た目も彩りがあって良かった」などの感想がありました。

市では、今回の試食会で出た意見をもとに改善し、修学旅行生に満足してもらえるメニューとなるよう取り組んでいきます。

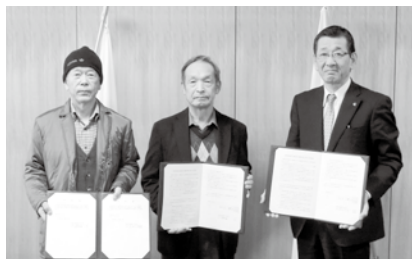
環境政策課

## 環境に配慮した施設整備へ

新焼却施設整備に伴う地元自治会との協定に調印



現在の備北クリーンセンター(焼却施設)



左から下谷自治会長吉政久司さん、一木自治会長吉原克廣さん、木山耕三市長

市は2月21日、平成34年度稼働予定の新焼却施設の整備にあたり、建設地である地元一木自治会および下谷自治会と、新焼却施設の建設および運転管理に関する協定を結びました。

協定書では、主に施設の建設工事と運転管理が地域環境に配慮したものであるよう取り扱いを定められました。